

2月28日(土)福島県石川町で

石陽社結成140周年記念自由民権学習会を開催

今年2015年は、東北で最初の政治結社有志会議（後に石陽社の改称）が明治8年に結成されてから140周年にあたります。

そのため、今年は石川町や石陽社顕彰会、石陽史学会などが記念事業を計画しています。

その最初の企画が、石陽社顕彰会が主催し、共催に石陽史学会がなり開催した自由民権学習会です。

2月28日（土）午後2時から石川町共同福祉施設の大ホールで開催

しました。講師は福島民報社事業局長の矢内節男さんで、演題は「前へ 次代につなぐ」でした。

矢内さんは、石川町の出身で、学法石川高校卒業後、福島大学を卒業、福島民報社へ入社された方です。

講演は、東日本大震災、原発事故からの復興、大きな前進を勝ち取るためには、明治時代に政府と闘い、憲法と国会を勝ち取った先人の活動を学び、教訓にしていくことが大事であることを話されました。



参加者は町内外から約100名の方が熱心に聴講されました。



講師の矢内節男氏